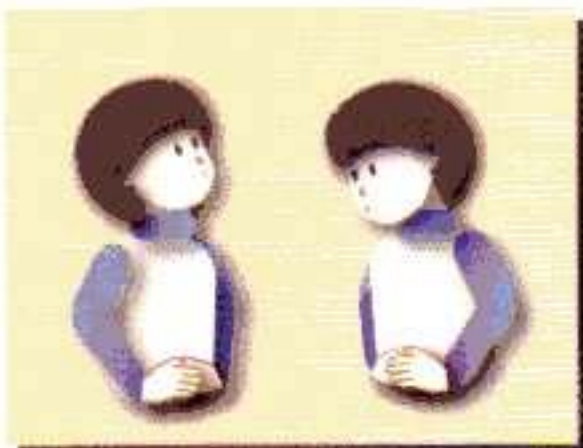


口腔ケア

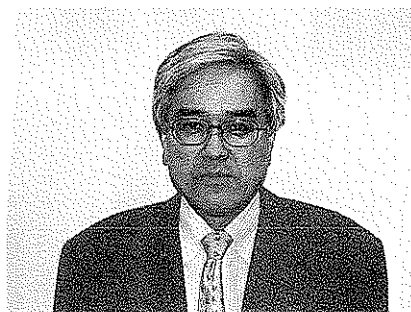
モデル事業 報告書



平成17年4月

はじめに

篠山市歯科医師会長 小 嶋 一 郎



急速に進む少子高齢化社会。篠山市も全国レベルを上回り、65歳以上の人口が25%を越えるようになって参りましたが、いつまでも、自分の歯で食生活を楽しみたいものです。篠山市では「健康ささやま21」の計画書に、高齢者のめざす姿・歯のスローガンとして「しっかり噛んで、寝たきり予防」が掲げられています。

介護保険制度も5年目を迎え、介護支援から介護予防へと制度改革が検討されております。そのような折、平成16年9月、篠山市長寿福祉課より「介護予防モデル事業」への協力依頼を打診され、篠山市歯科医師会としては一昨年より丹波圏域で、高齢者保健福祉施設職員を対象とした口腔ケア講習会や研修を開催し、施設での口腔ケアの定着やレベルアップを目指した事業を展開しており、篠山市とともに事業に取り組むこととなりました。

この介護予防モデル事業は準備期間も短く、また、“閉じこもり予防”の対象者に口腔ケアを実施するという計画で、新たな検討事項が必要とされました。なお、今後の介護予防事業の展開を図るため、地域で活動する歯科医師および歯科衛生士が連携することを目的として、篠山市歯科医師会員10名（会員数19名）からなる口腔ケア委員会を設置し、検討と研修を重ねました。

また、兵庫県歯科医師会の橋本猛伸会長からは、現場の力を十分に発揮できるよう全面的に協力するというご支援もいただき、さらに、日本歯科医師会からの指導や研修を受け、事業を担当して参りました。ここに本事業内容結果をご報告申し上げます。

今回のモデル事業を通して、地域で口腔ケアを推進していくために、様々な問題点や課題が浮き彫りにもなりました。また、今、社会から求められているのは歯の治療を行う歯科医師でなく「口腔の管理者」「食べることを支援する専門家」としての歯科医師であることも痛感いたしました。

今後は、気道感染だけでなく口腔機能の改善による低栄養の改善や咀嚼運動による脳神経への刺激など、高齢者の生活機能低下の予防に深く関与している口腔ケアが篠山市という地域性も考慮しつつ、多くの関係者と連携を図り、より充実した内容で、高齢者の介護予防・自立支援につながっていけば幸いです。

なお、本事業の実施にご協力いただきました、日本歯科医師会米山武義歯科医師、兵庫県歯科医師会橋本猛伸会長、福祉医療担当理事福家秀一歯科医師、篠山市関係課職員、篠山市地域活動歯科衛生士の皆さん、その他関係機関、団体に厚くお礼申し上げます。

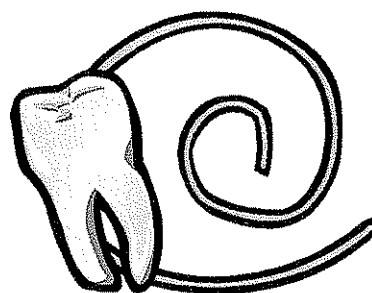
平成 16 年度介護予防モデル事業

「口腔ケア」 モデル事業報告書

兵庫県篠山市歯科医師会
平成 17 年 4 月発行

CONTENTS

介護予防モデル事業「口腔ケア」篠山市の取り組み	P 3
篠山市介護予防モデル事業の概要	P 6
口腔ケア「お口プログラム」の概要 プログラムの実施状況・指導手順・事業評価	P 10
介護予防モデル事業「口腔ケア」協力機関・団体	P 30
■ 参考資料	
・ 事前、事後問診票およびアセスメント票(既定様式)	P 33
・ 歯科健診記録、各種検査票、指導票(篠山市追加様式)	P 37



介護予防モデル事業「口腔ケア」の取り組み

～平成 16 年度介護予防市町村モデル事業～

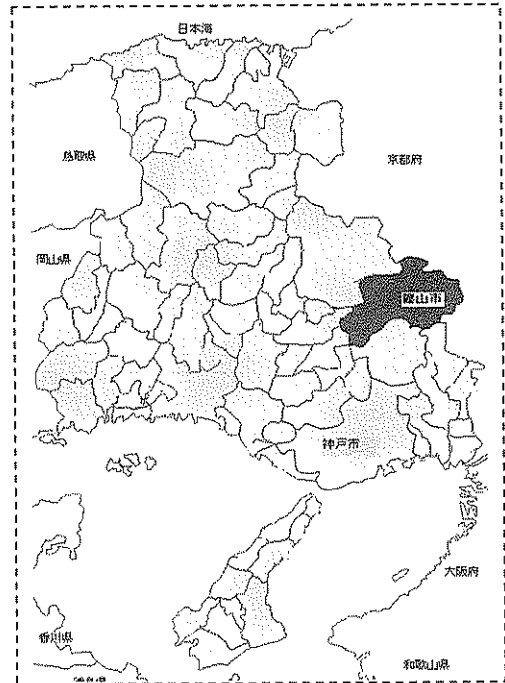
兵庫県篠山市

はじめに

篠山市は兵庫県の北東部に位置し、山々に囲まれた農村地域で、人口約 4 万 6 千人、高齢化率は 25.9% (県平均 18.7%) である。(平成 16 年 2 月現在)

平成 16 年 12 月～平成 17 年 2 月までの 3 か月間、国の介護予防市町村モデル事業として、介護保険制度改正後に実施される総合的な介護予防システムの在り方検討のため、篠山市が「閉じこもり予防」と「口腔ケア」に取り組むこととなり、篠山市歯科医師会もモデル事業に協力し、高齢者の口腔ケアの推進に努めたので、今回の事業概要及び実施経過、課題について報告する。

なお、口腔ケアモデル事業は、全国で 10 市町村のみの実施であり、その成果に関係者は注目している。



介護予防モデル事業の概要

1 背景

介護保険制度見直し案の重要な柱となっている「介護予防重視型のシステムへの変換」については、現行のサービスが必ずしも「介護予防」「重度化防止」につながっておらず、2015 年には団塊の世代が高齢期(65 歳)に達し、職域保健から地域保健に編入される時期になるため、この 10 か年を「持続可能な制度」「明るく活力のある超高齢化社会の構築」「社会保障制度の総合化」と、基本的視点を持ち改革に取り組む必要がある。

特に、介護予防を新・予防給付として介護保険給付に編入することが検討されているが、数々の課題が山積しており、篠山市においても介護保険における保健福祉事業は合併時の混乱や組織の連携上取り組めていない状況下にあったため、介護予防研究会を発足させ、組織、職種間の横断的な連携を図っているところである。

今回、国において平成 16 年度モデル事業の追加募集が行われ、この機会を活用し、介護予防事業を行う上でのノウハウや、全国で展開されている先駆的事业を学ぶことにより、新・予防給付への適切な基盤整備や方向性を確立するため、モデル事業の「閉じこもり予防」と「口腔ケア」に取り組むこととなった。

2 モデル事業の基本的な考え方

- 1 「介護予防重点推進・評価委員会」を設置する。
- 2 「本モデル事業の実施方法」によって事業を行う。
- 3 事前評価・事後評価を行う。
- 4 各プログラムの実施期間は 3 か月間とする (一部 6 か月間)
- 5 通所での個人プランによる集団実施とする。
- 6 原則として市町村 (保険者) が実施する。
(外部の専門家の招聘、個人プラン作成及び各プログラム実施の外部委託可)

3 モデル事業の実施方法

事業計画書の作成

対象者の選定

- (1) 要支援・要介護1および2の者（ただし身体状況を考慮する）
 - * 辞退者等で参加者減を見込んだ数値
 - * モデル事業における対象者選定はケアマネージャーとの連携が重要

基本審査

- (1) 各プログラムの基本審査項目により審査
- (2) 介護認定第1次審査の数値
- (3) 主な疾患等
- (4) 生活行動改善目標

エントリー判定

- (1) エントリー判定表を使い除外条件を判定
- (2) 除外項目によってはかかりつけ医の判断

アセスメント

- (1) 各アセスメント票等による

各プログラムへの振り分け

単独実施の場合は必要なし

個別プランの作成

・実技指導者研修会において作成手法を習得

プログラム実施

- (1) 筋力向上 3か月間
- (2) 栄養改善 6か月間(中間評価3か月間)
- (3) 閉じこもり予防 3か月間
- (4) フットケア 3か月間
- (5) 口腔ケア 3か月間

・実技指導者研修会において実技指導を習得

効果測定

- (1) 事業開始前(基本審査・アセスメント等の数値)とプログラム終了後の数値等による比較
 - (2) 生活行動改善目標達成度(基本審査時の目標に基づき、本人や家族にアンケート)
- * プログラム終了後も維持・向上のためプログラムの継続および他施策への参加ができるような働きかけ

評価

- (1) 個人評価(事業実施前・後の改善評価と要介護の変化)
- (2) 総合評価(参加者全員の改善評価)

介護予防重点推進・評価委員会

- (1) 目的 介護保険制度改正後に実施される総合的な介護予防システムのあり方検討のために、平成 16 年度に実施される「介護予防市町村モデル事業」の実施を受けて、モデル事業の運営管理や事業評価を行うことを目的に設置する。
- (2) 委員会構成 介護認定審査会委員、医師会等医療関係者、公衆衛生、高齢福祉等の介護予防関連有識者、介護予防プログラムで実技指導を担う者(管理栄養士・栄養士・健康運動指導士、健康運動実践指導者、理学療法士、作業療法士など)、ケアマネージャーにより構成。在宅介護支援センター、民間事業者、老人クラブ、NPO等の職員の協力も得る。

●篠山市介護予防重点推進・評価委員会 委員名簿 (17名)

選出区分	委員氏名	所属及び役職名	備考
介護認定審査会委員	西井 一雄 *山鳥 嘉彦	篠山市医師会長	医師
	山西 行徳	宝塚三田病院長	精神科医師
	和田 智弘	兵庫医科大学篠山病院	理学療法士
保健医療関係者	岡本 信洋	岡本病院理事長	医師
	小嶋 一郎	篠山市歯科医師会長	歯科医師
公衆衛生、高齢福祉等介護予防関連有識者	大槻 伸吾	大阪産業大学人間環境学部文化学科教授	
	比名 直代	篠山健康福祉事務所	保健師
	小前 みどり	柏原健康福祉事務所	歯科衛生士
民間事業者代表	宮脇 賀一郎	篠山市介護サービス事業者連絡協議会	
居宅介護支援専門員代表	酒井 康夫	篠山市介護サービス事業者連絡協議会介護支援専門員部会長	
老人クラブ連合会	山田 正男	篠山市老人クラブ連合会長	
NPO等関係者	畑 中 寿	篠山市社会福祉協議会次長	
	柳田 恵子	ボランティアグループコミュニケーション代表	
予防プログラム実技指導者	森本 勝則	老人保健施設 咲楽荘	理学療法士
	亀澤 徹郎	兵庫県健康財団からだの健康部からだの健康課 課長補佐	運動指導士
	出口 まりこ	篠山市地域活動歯科衛生士会	歯科衛生士
	山根 茂世	篠山市地域活動栄養士会	管理栄養士

*平成 17 年 3 月より

篠山市介護予防モデル事業の概要

篠山市の概要

平成 16 年度

- ・人 □ 47,402 人
(65 歳以上人口：11,953 人 高齢化率 25.2%)
(75 歳以上人口：6,067 人 後期高齢者率 12.8%)
- ・ 要介護認定者総数 1,811 人
- ・ 介護保険受給者数 1,439 人
- ・ 要支援受給者数 233 人 (16.2% 要支援受給者／総受給者)
- ・ 要介護1受給者数 400 人 (27.8% 要介護1受給者／総受給者)

対象者の選定

閉じこもり要因にて「生活機能低下要因群」の者を対象とする。

- ① 要支援・要介護1で介護サービスの未利用者及び通所サービス未利用者をリストアップ。
- ② 在宅介護支援センター・ケアマネージャーにてさらにリストを絞る。
- ③ 実施場所(保健センター)との関係で送迎可能な地区(篠山東・篠山)の対象者をリストアップ
- ④ 介護認定は受けていないが、閉じこもり状態にあるなど支援の必要な者も対象として加えた。

実施期間

平成 16 年 12 月 から平成 17 年 2 月まで(3 か月間)

週 1 回(毎週水曜日) 13:30～ 15:30

全 12 回実施(うち口腔ケアプログラムは 8 回)

プログラム内容

篠山市介護予防モデル事業 → 「さくら教室」と名付けて実施

テーマ

「いきいき元気に 口から始める 心とからだの健康づくり」

- おくちプログラム 口腔ケアプログラム + 食生活改善プログラム
- からだプログラム 体のバランス、筋力、柔軟性
- こころプログラム 回想法・音楽療法によるアクティビティ、仲間づくり、役割さがし

* 終了後に自分にあった「地域の居場所」を見つけられるように、地域にある資源の情報提供や見学、体験などをプログラム中頃から組み込んでいく。

「さくら教室」のながれ

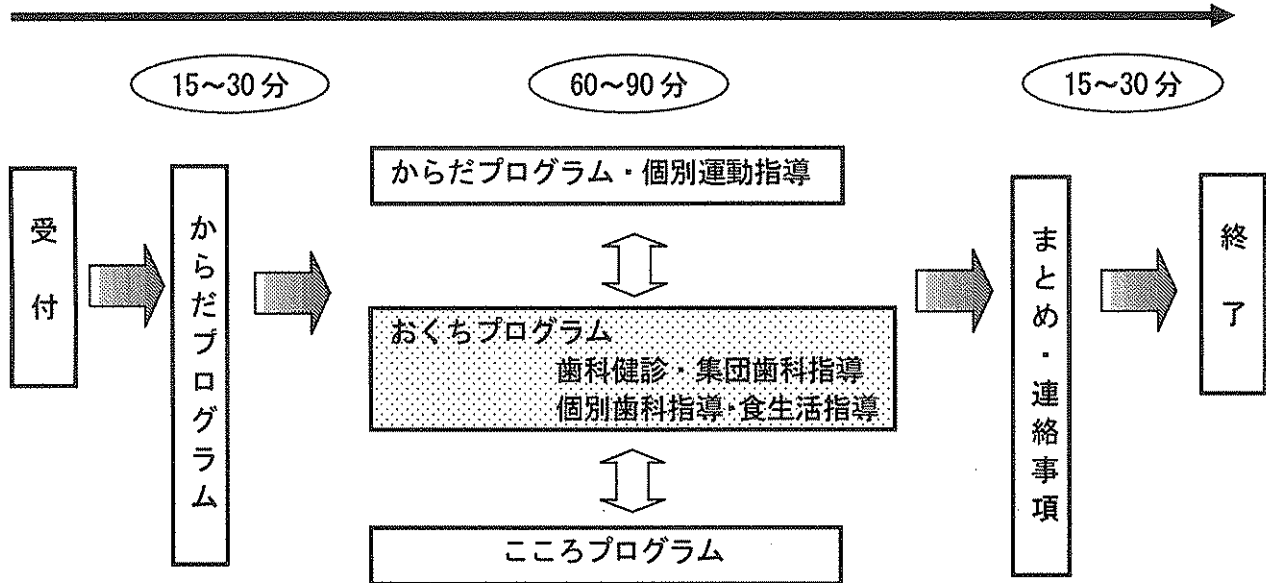
(2時間)

13:30

14:00

15:00

15:30



送迎について

交通機関がなく、送迎の必要があり、リハビリカーを活用
(運転手、添乗員配置)

評価のための測定項目

- ◆共通
 - ・要介護度および要介護認定一次審査の点数
(事前にフェイスシートに記入)
- ◆閉じこもり予防
 - ・閉じこもり要因質問票 (事前訪問時とプログラム最終日に記入)
 - ・SF36質問用紙 (事前訪問時とプログラム最終日に記入)
 - ・体力測定10メートル最大歩行速度測定 (プログラム初回と最終日)
 - ・血圧測定 (毎回測定)
- ◆口腔ケア
 - ・アセスメント票A、B、C (歯科健診・問診票)、自己評価票他
 - ・口腔内写真 (初回歯科健診と最終日に撮影)
 - ・各種テスト実施
(RDテスト、サリバスターテスト、ストマスタット、水のみテスト)

ー 全体のプログラム(3か月間：12回)

No.	開催日	曜日	おうちプログラム	からだプログラム	こころプログラム	雇い上げスタッフ	備考
1	12月1日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科問診チェック ・ストマスタット ・サリバスターテスト ・RDテスト ・歯科検診 ・歯科医からの話 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力測定 ・血圧測定 ・3ヵ月後の自分をイメージ 	「お互いを知ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・質問票の聞き取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士 ・運転員 	※測定・計測・問診・検査は来所した方から順次行う。
2	12月8日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診 ・歯科医からの話 	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧測定 ・集団体操 	「思いで語り」 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの話をしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師 ・歯科衛生士 ・運転員 	※検診待ち時間はこころプログラムで対応
3	12月15日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の個別指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧測定 ・前回の結果説明 ・個別プログラム ・タイプ別運動指導 ・目標設定 	「遊びの思い出」 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな遊びをしましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士 ・運転員 ・運動指導士 	※個別指導の待ち時間はこころプログラムで対応
4	12月22日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の集団指導 ・歯科衛生士の個別指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧測定 ・集団体操 ・個別プログラム 	「学校の思い出」 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな教科書？ ・どんな授業？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士 ・運転員 	※個別指導の待ち時間はこころプログラムで対応
5	平成17年 1月5日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活と健康づくり① 「昔の食事と今の食事」健康を維持するために は・・・ ・歯科検診 	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧測定 ・集団体操 ・個別プログラム 	「食事の思い出」 <ul style="list-style-type: none"> ・お正月のご馳走 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士 ・運転員 	
6	平成17年 1月12日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診 	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧測定 ・集団体操 ・個別プログラム 	「懐かしい歌」① <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで歌おう 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師 ・歯科衛生士 ・運転員 ・音楽指導員 	※検診待ち時間はこころプログラムで対応

No.	開催日	曜日	おうちプログラム	からだプログラム	こころプログラム	雇い上げスタッフ	備考
7	平成17年 1月19日	水	・食生活と健康づくり② 「懐かしいおやつで栄養アップ」	・血圧測定 ・集団体操 ・個別プログラム 実施状況確認	「おやつのおいし出」 ・懐かしいおやつ を作ってみよう	・栄養士2(1) ・運転員1	※簡単な調理実習を交 えてのこころプログ ラム
8	平成17年 1月26日	水	・歯科衛生士の集団指導 ・歯科衛生士の個別指導	・血圧測定 ・集団体操 ・個別プログラム 実施状況確認	「懐かしい歌」② ・みんなで歌おう	・歯科衛生士2 ・運転員1 ・音楽指導員2	※個別指導の待ち時間 はこころプログラム で対応
9	平成17年 2月2日	水	・食生活と健康づくり③ 「簡単・懐かしい・バラ ンスOKの食事って!？」	・血圧測定 ・集団体操 ・個別プログラム 実施状況確認	「食事のおいし出」 ・懐かしい食べ物 を作ってみよう	・栄養士2(1) ・運転員1	※簡単な調理実習を交 えてのこころプログ ラム
10	平成17年 2月9日	水		・血圧測定 ・集団体操 ・個別プログラム 実施状況確認	「一緒に遊ぼう」 ・地元のことでも違 との交流会	・運転員1	
11	平成17年 2月16日	水	・歯科検診 事後ミーティング開催	・血圧測定 ・体力測定 ・個別・自己評価 実施状況確認	「元気を維持する 秘訣?!」	・歯科医師4(2) ・歯科衛生士4 ・運転員1 ・運動指導士1	※検診待ち時間は運動 指導とこころプログ ラムで対応
12	平成17年 2月23日	水	・歯科衛生士の集団指導 (まとめ) ・個別フィードバック	・血圧測定 ・まとめ ・個別フィードバック 実施状況確認	「3ヶ月を振り返り返 って」	・歯科衛生士2 ・運転員1	・修了式 ・質問票記入

口腔ケア「お口プログラム」の概要

1 口腔ケアの必要性と目的

「専門的口腔ケア」は低栄養、転倒、気道感染、閉じこもり等に対する予防効果があり、高齢者に対するリハビリテーションのメニューのうち、効果を高めるサービスのひとつであることが確認されている。(平成16年1月：厚生労働省主催「高齢者リハビリテーション研究会」)

日常のセルフケアを強化する教育要素を積極的に盛り込み、利用者のセルフ意欲を引き出し食介護の一助とする。さらに、必要に応じて、介護職員や歯科衛生士が利用者とともに、効果的な口腔ケアを支援し、楽しく安全に口腔ケアが生活習慣として定着できるようにする。

「食べる」とは (摂食嚥下機能)

食べ物を口の中に取り込み、咀嚼^{そしやく}(かみくだき)、嚥下^{えんげ}(のみこむ)して胃まで送り込むこと。食事をするためには、唇・頬・歯・舌・上あご・舌あご・咀嚼筋・咽喉など様々な器官が相互に作用している。

機能維持に口腔ケアが必要。

口腔ケアとは

- 器質的口腔ケア・・・歯みがきだけでなく、口の中をきれいにする口腔清掃
- 機能的口腔ケア・・・「食べる」という口の機能、摂食嚥下障害を持つ者への指導・助言・訓練

2 対象者

要支援、要介護1および要介護2(ただし、身体状況等を考慮する)

19名

閉じこもり予防「さくら教室」参加者	13名
デイサービス利用者	6名

男性6名、女性13名 平均年齢79.0歳

3 実施期間 モデル事業実施期間：平成16年12月～平成17年2月(3か月間)

4 会場 篠山市保健センター (篠山市小田中)

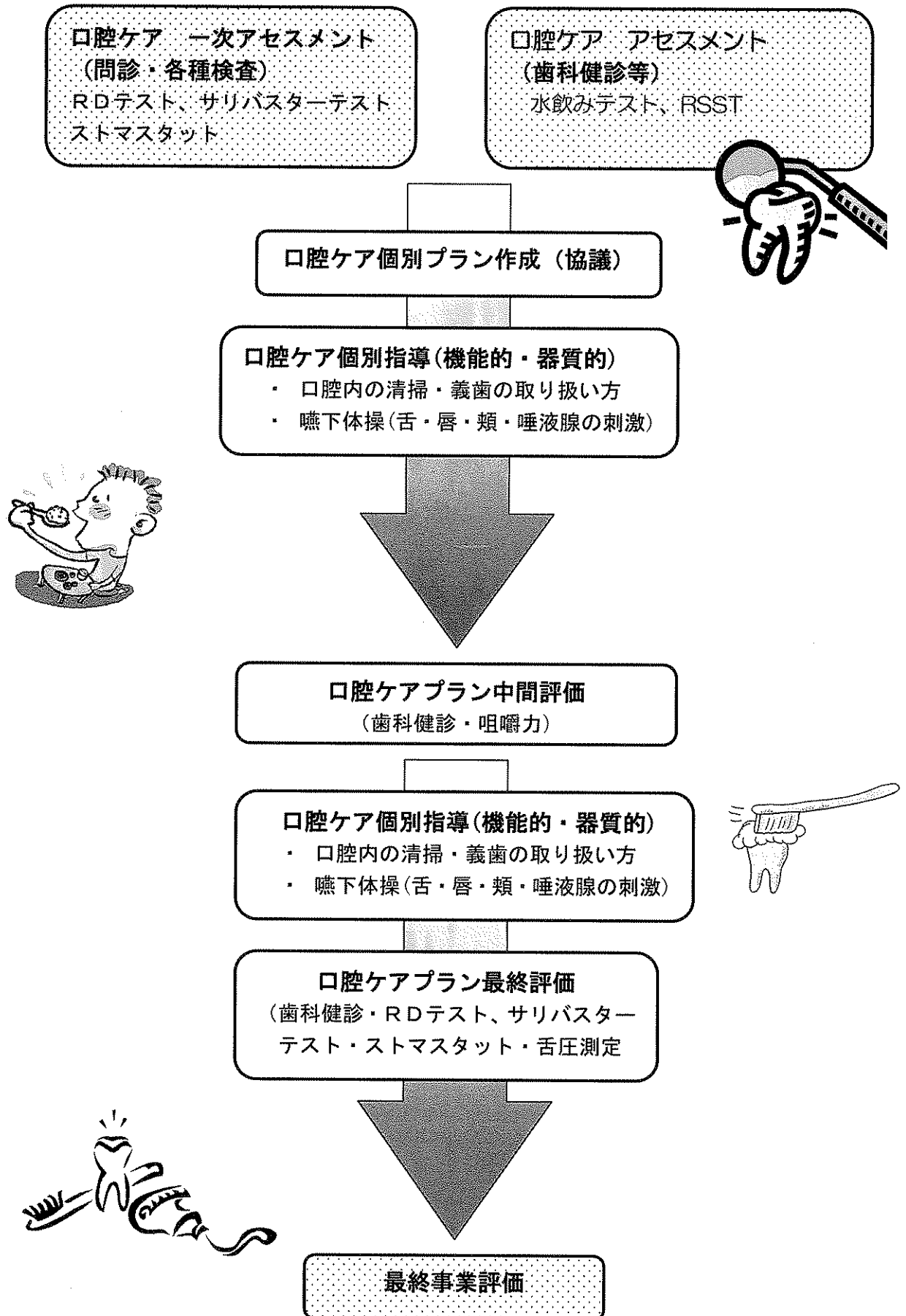
5 スタッフ(歯科関係者のみ)

歯科医師 10名
歯科衛生士 6名

◆お口プログラム内容◆

	開催日時	担当者(数)	お口プログラム内容	備考
1	平成 16 年 10 月 22 日(金) PM20:00~22:00	歯科医師 10 歯科衛生士 6	■ スタッフの事前説明会、事業計画について協議	
2	平成 16 年 10 月 26 日(火) PM20:00~22:00	歯科医師 10 歯科衛生士 6	■ スタッフの事前説明会 事業実施方法等の協議	
3	平成 16 年 12 月 1 日(水) PM13:30~15:30	歯科衛生士 5	口腔ケア一次アセスメント(問診)	RDテスト サリバスター ストマスタート
4	平成 16 年 12 月 3 日(金) PM20:00~22:00	歯科医師 10 歯科衛生士 6	■ スタッフ学習会・講習会 水飲みテスト、RSSTテスト講習会	
5	平成 16 年 12 月 8 日(水) PM13:30~15:30	歯科医師 10 歯科衛生士 6	口腔ケアアセスメント(歯科健診1回目) デジカメ写真記録	咀嚼ガム 水飲みテスト RSST
6	平成 16 年 12 月 13 日(月) PM20:00~22:00	歯科医師 10 歯科衛生士 5	■ 協議検討会 個別支援プラン作成 事前評価の整理	
7	平成 16 年 12 月 15 日(水) PM13:30~15:30	歯科衛生士 4	集団・個別指導	
8	平成 16 年 12 月 22 日(水) PM13:30~15:30	歯科衛生士 5	集団・個別指導	
9	平成 17 年 1 月 12 日(水) PM13:30~15:30	歯科医師 10 歯科衛生士 6	口腔ケアプラン中間評価(歯科健診2回) デジカメ写真記録	
10	平成 17 年 1 月 26 日(水) PM13:30~15:30	歯科衛生士 6	集団・個別指導	
11	平成 17 年 2 月 16 日(水) PM13:30~15:30	歯科医師 10 歯科衛生士 6	口腔ケアプラン最終評価(歯科健診3) デジカメ写真記録、舌圧計測	RDテスト サリバスター ストマスタート
12	平成 17 年 2 月 21 日(月) PM20:00~22:00	歯科医師 10 歯科衛生士 6	■ 最終評価協議・検討会 個別支援と口腔ケアの評価について	
13	平成 17 年 2 月 23 日(水) PM13:30~15:30	歯科衛生士 6	集団・個別指導 モデル事業まとめ・個別フィードバック	

◆ 「お口プログラム」 フローチャート



歯科健診等事前アセスメント状況

氏名	年齢	性別	残存	義歯上	義歯下	主訴	義歯調整	要治療	CPITN	水飲みテスト	プロパー	RSST	RD	サリスタ	ストマタ
1 A	94	男	4本 残根	総	部分	固い物が食べにくい	要	あり		5秒	疑い	5回	M	±	+
2 B	70	男		総	部分	下の義歯がゆるい									
3 C	87	男	1本 残根	使用なし	使用なし	歯がなく、言葉が話しにくい	否	あり		5秒	正常	3回	L	-	±
4 D	85	女	1本	総	部分	特になし	要	あり		10秒	疑い	2回	H	±	+
5 E	62	男	12本			口臭が気になる		あり	3	5秒	正常	4回	H	±	+
6 F	60	男	26本			歯が痛む。飲み込みにくい 通院困難			3	4秒	正常	9回	M	±	±
7 G	70	女	26本			飲み込みにくい		なし	4	8秒	異常	5回	L	±	+
8 H	75	女	26本			噛みにくい。食べにくい			3	4秒	正常	4回	H	+	
9 I	83	女	1本 残根	部分	総	特になし	否			6秒	疑い	5回	H	±	+
10 J	86	女	4本	部分	総	春に治療が終わったところ	否		1	3秒	正常	5回	M	±	-
11 K	76	女	26本			特になし		あり	4	5秒	正常	3回	H	++	
12 L	79	女	9本	部分	部分	義歯調整を希望	要						H	±	±
13 M	91	女	0本	総	総	特になし	要	あり			疑い	3回	M	+	+
14 N	82	女	9本 残根	総	使用なし	特になし	要	あり	3	20秒	疑い	2回	M	+	-
15 O	80	女	4本	部分	部分	特になし	否	なし		3秒	正常	4回	H	+	±
16 P	84	女	1本	部分	総	特になし			3	5秒	正常	1回	H	±	±
17 Q	71	女	13本 残根	部分	部分	通院困難			3	4秒	正常	1回	M	+	±
18 R	85	女	0本	部分	使用なし	特になし			3	7秒	疑い	4回	L	±	+

●水飲みテストは1回飲み込むのにかかった時間

●RSSTは30秒に、唾液が嚥下できた回数

●RDはむし菌テスト L→ M→ H(菌が多い)

●サリスタテストは菌周病潜血テスト - → ± → + → ++ (潜血が多い)

1 口腔ケア一次アセスメント

実施日：平成 16 年 12 月 1 日（水） 担当：歯科衛生士 5 名

- 問診 指定アセスメント用紙、篠山市の追加問診項目について、歯科衛生士が聞き取りを実施。＊資料参照
- 各種検査

RDテスト（齧蝕原性菌を検査することにより、口腔内の衛生状態を判定する検査）

サリバスターテスト（唾液中の潜血濃度を判定する歯周疾患の検査）

ストマスタット（カンジダ菌を検出する検査）



2 研修会（水飲みテスト・RSST 実習）

実施日：平成 16 年 12 月 3 日（金）

会場：篠山市市役所第 2 庁舎会議室

講師：兵庫医科大学篠山病院リハビリテーション科 田中章太郎医師

参加者：篠山市歯科医師会、篠山市地域活動歯科衛生士会、篠山市関係職員

● 水飲みテスト

水を飲ませることにより、飲み込む時間、むせの有無、飲み方について記載する方法。検査に用いた水は誤嚥しても安全性が高く、在宅などでも行える方法。しかし、著しい誤嚥が予想される患者には負担が大きい。

◎常温の水 30ml を注いだ薬杯を椅子座位の状態にある患者の健手に手渡し、「この水をいつものように飲んでください。」と言い、水を飲み終わるまでの時間、プロフィール、エピソードを観察する。

記載例

飲み終わるまでの時間

秒

「プロフィール」以下より選択してください。

1. 1回でむせることなく飲むことができる。
2. 2回以上に分けるが、むせることなく飲む事ができる
3. 1回で飲む事ができるが、むせることがある。
4. 2回以上に分けて飲むにもかかわらず、むせることがある。

プロフィール1で5秒以内	→	正常範囲
プロフィール1で5秒以上、プロフィール2	→	疑い
プロフィール3~5	→	以上

「エピソード」

すすむような飲み方、含むような飲み方、口唇からの水の流出、むせながらも無理に動作を続けようとする傾向、注意深い飲み方などを観察する。

● RSST（反復唾液嚥下テスト）

摂食嚥下障害の評価や、誤嚥の有無の正確な判断は、最終的にはビデオ嚥下造影法（VF）によるが、在宅でも可能な検査の方法の一つに、反復唾液嚥下テストがあります。在宅でも使える簡単な嚥下障害の検査法です。注意点としては、意思疎通が困難な患者は行えない。

方 法： 患者に座位をとらせ、空嚥下を30秒間に最大何回できるかを評価する。
嚥下は、喉頭（喉頭隆起と舌骨）に指の腹をあてて確認する。

評 価： 30秒間で3回以下であれば、嚥下障害の疑いが強い。

注 意： 口腔乾燥があり、嚥下が困難であれば、人口唾液2mlの噴霧を行い嚥下させる。

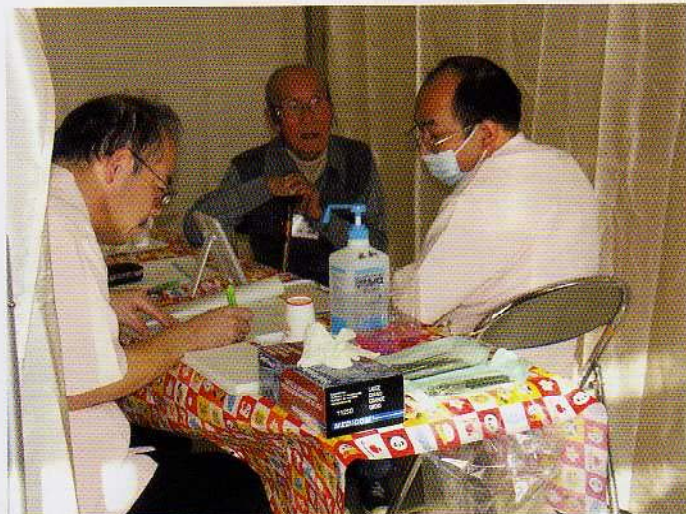
このテストで異常があれば、気づかれていない誤嚥の可能性もありますので、食事場面を特に注意して観察します。



3 口腔ケアアセスメント（歯科健診1回目）

実施日：平成16年12月8日（水） 担当者：歯科医師10名、歯科衛生士6名

- 歯科健診実施
- 水飲みテスト・RSSTテスト実施
- 口腔内写真撮影

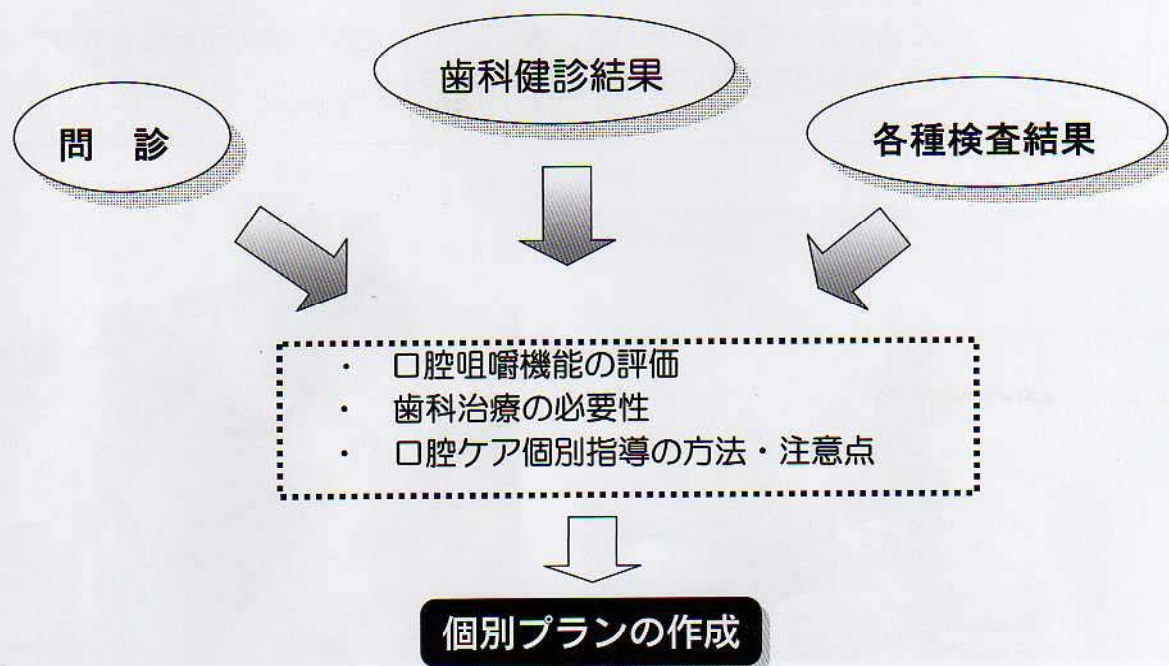


4 口腔ケア個別プラン作成

実施日：平成16年12月13日（月）

会場：篠山市市役所第2庁舎会議室

担当者：歯科医師、歯科衛生士、篠山市事務局



4 口腔ケア指導(個別・集団)

集団・個別指導Ⅰ 実施日：平成16年12月15日(水) 担当者：歯科衛生士5名
集団・個別指導Ⅱ 実施日：平成16年12月22日(水) 担当者：歯科衛生士5名
集団・個別指導Ⅲ 実施日：平成17年1月26日(水) 担当者：歯科衛生士5名



口腔ケア個別指導の手順 (口の周りの体操)

① あいさつ

この1週間の生活の様子、歯みがき、口の体操などの実施状況を、まず聞いて、緊張をとる。



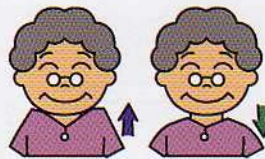
② 深呼吸

大きく2~3回深呼吸する



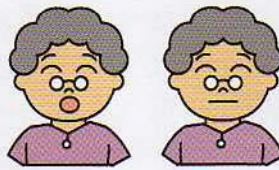
③ 肩や首の運動

両肩を上・下に動かす。併せて、首を前後に回して、少しリラックス。



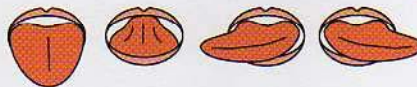
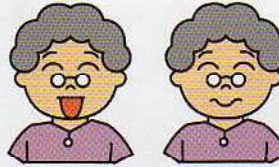
① 口の体操

「あんあん」と「いういう」を繰り返して、大きな声を出す。



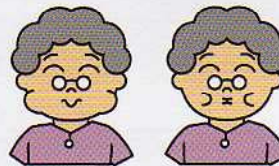
② 舌の体操

舌を前に出したり、引っ込めたりする。併せて左や右に動かす。



③ 頬の体操

頬をふくらましたり、へこましたりする。



④ 大きな声で

「パンダのたからもの」と唇と舌を使う言葉を大きな声で言う。



⑤ 唾液腺マッサージ

両頬とあごの下をマッサージして唾液腺の開口部を刺激する。



⑥ 大きな声を出す

向かい合わせに座り、お互いの手の平を合わせ、お腹から大きな声を出して「エイエイオー」と言う。



口腔ケア個別指導の手順（清掃方法・義歯の取り扱い等）

【手 順】

- ブラッシング指導（残っている自分の歯や、根元の部分をていねいにみがく）
- 義歯の清掃・取り扱い方の説明（義歯のはずし方、清掃や保管方法）

- ①鏡を見て、いつものブラッシングを行ってもらう。
- ②みがき残しの部分や入れ歯の汚れた部分を歯科衛生士と一緒に清掃する。
- ③家でも自分の歯や義歯の手入れを継続して行うよう、勧奨する。



5 口腔ケアプラン中間評価(歯科健診Ⅱ)

実施日：平成17年1月12日（水）

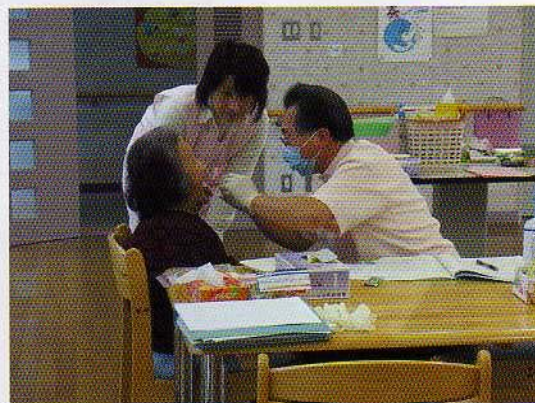
- 歯科健診実施
- 咀嚼力判定(咀嚼力判定ガムを使用)
- 口腔内写真撮影

■咀嚼力判定ガム

ガムを2分間噛んで、色の変化を見る。その色によって、おおむねの咀嚼力を判断する。
(義歯の場合は3分間)

- ◎自分でガムを噛み、その場で確認するため、納得してもらえる。
- ◎2～3分で客観的な評価が可能になる。
- ◎キシリトール50%以上配合
- ◎入れ歯に付きにくいガムペース採用

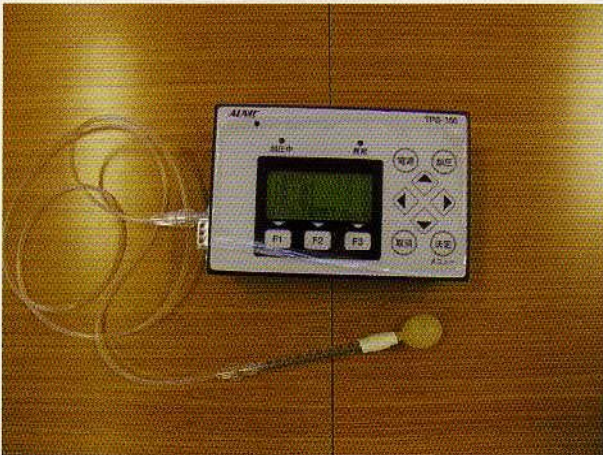
販売者：株式会社ロツテ
発売元：株式会社オーラルケア



6 口腔ケアプラン最終評価(歯科健診Ⅲ)

実施日：平成 17 年 2 月 16 日（水） 担当：歯科医師 10 名、歯科衛生士 6 名

- 歯科健診実施
- 各種検査実施（RDテスト、ストマスタット、サリバスターテスト）
- 口腔内写真撮影
- 舌圧測定（摂食嚥下能力を推測するために、舌の力を測定する）



7 個別支援プラン最終評価(協議)

実施日：平成 17 年 2 月 21 日（月）

個別評価・全体評価について協議

出席者：歯科医師、歯科衛生士、篠山市関係職員



個別評価と全体評価

「口腔ケア」と「閉じこもり予防」の関係

歯がない。入れ歯を使っていない。

歯科治療
口腔ケアが必要

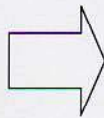
うまく食べられない。見た目が悪い。

活動意欲の低下

“閉じこもり”

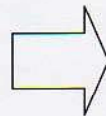
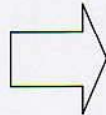
口腔ケア結果症例① (3か月間のモデル事業で好結果を得た症例)

- ◆ 歯科治療を受けたことにより、前歯部の歯が揃い、表情の変化が認められ、周りの人達からお褒めの言葉がかかり、本人も明るくなり、笑顔も増え、よくしゃべるようになった。
- ◆ 家での歯みがき回数も増え、口の中が気持ち良くなった。口の体操も時々、行っておりむせが少なくなり、食事がしやすくなった。



口腔ケア結果症例②（3か月間のモデル事業で好結果を得た症例）

- ◆ 歯みがき回数や、入れ歯の清掃回数は以前より多くなり、舌をみがく習慣もついた。
口の体操は家でもよくやっている。運動するのが楽になった。



各種検査比較

初回と最終回の検査結果を比較して
 ▲:良くなった =:変化なし ▼:悪くなった

名前	ストマスタット	RDテスト	サリバスターテスト
A	▲	=	▼
C	=	▼	▼
E	▲	=	▼
F	=	▼	▼
G	▲	=	=
I	▲	=	=
J	=	▲	=
L	=	▲	▼
M	▲	=	▲
N	=	=	▲
O	▲	▲	▲
P	=	=	▼

徳山市口腔ケアモデル事業 評価検討資料

氏名	年齢	性別	残存歯	義歯上	義歯下	主訴	指導状況・特記事項	本人の思い・感想
1	94	男	4本残根	総	部分	固い物が食べにくい	口の体操により発音が最初の頃より聞き取りやすくなった。	歯みがき回数や入れ歯の清掃回数は以前と変わらな い。口の体操は面倒である。治療は受けたくない。 口 の中が気持ちよくなり、食事がおいしくなった。
2	70	男	0本	総	部分	下の義歯がゆるい		
3	87	男	1本残根	使用なし	使用なし	歯なし。言葉聞き取りにくい	残根部分の炎症があり、痛みもある様子。舌の清掃を頑張られ、きれいになってきた。	歯みがき回数や入れ歯の清掃回数は以前と変わらな い。口の体操はほとんどしていない。治療は受けたく ない。食事がおいしくなり、食べやすくなった。
4	85	女	1本	総	部分	特になし	治療に行く決心がなかなかつかない様子。歯垢、歯石とも多いが、最初の頃より清掃状態は良くなった。	
5	62	男	12本			口臭が気になる。よく仁丹を食べていた。	上の前歯の着色を本人は気にしている。治療につ いては複雑な思いがあり、興味と相談する。	歯みがき回数は以前より多くなり、食事がおいし くないが、口の中が気持ちよくなり、食事がおいし くなった。
6	60	男	26本			歯が痛む 飲み込みにくい 通院困難	送迎支援を受け、歯科医院に通院し、調子が良くな った。最初は歯みがき圧が強すぎたが、今ではブラッシング良好。	歯みがき回数は以前より多くなった。現在、治療中 で 悩みは解決している。口の体操は時々やっている。口 の中が気持ちよくなり、むせが少なくなり、食べやす くなった。治療を受けて良かった。
7	70	女	26本			飲み込みにくい。	飲み込みにくいことが気になる。兵庫医大に受診するも 変化なし。清掃状態は良好。左上のブリッジ部分に汚 れかたまる。とても神経質。もともと口腔内の清掃は良 好な状態であった。	歯みがき回数は以前より多くなったが、悩みは解決し ていない。口の体操は時々やっている。治療に行きた いが、それ程困っていない。食事がおいしくなった。
8	75	女	26本			唾みにくい 食べにくい	口の体操より歯みがきの方に興味を示された。上の前歯 のむし歯が気になる。	
9	83	女	1本残根	部分	総	特になし	残存歯、義歯ともに清掃良好。上の義歯が少しゆるくな った。スポンジブラシも上手に使用。	以前より、歯の手入れ回数は多くなり、口の体操も家 でよくしている。食べやすくなり、むせが少なくなっ た。
10	86	女	4本	部分	総	春に治療が終わったところだが、2本のむし歯あり。	毎回、お嫁さんの事を話されるなど、会話を楽しまれる。食後は必ず歯みがきをする。口の体操も上手に動かしていた。舌苔に興味を示す	以前より、歯の手入れ回数は多くなり、口の体操も家 でよくしている。口の中が気持ちよくなり、食事がお いしい。歯医者さんからいろいろ説明を受けて、イ メージが変わった。

11	K	76	女	26本			特にない	嘔る前に歯がみがけたらいい方だ。口の体操はうまくできなかった。	歯みがき回数や入れ歯の清掃回数は以前と変わらない。口の体操は以前と変わらな い。口の体操はやっていない。治療に行きたいが体の調子が悪くていけない。(デイサービス利用開始の運びとなる)
					部分	部分			
12	L	79	女	9本(うち残根3)	部分	部分	食事が取りにくい。義歯の調整希望。噛みにくい	清掃状態は良好。口の体操も積極的にやっているが、義歯の不調が気になる。健診の結果、入れ歯が当たって傷が付いている部分あり。かかりつけの歯科で治療希望。	
13	M	91	女	0本	総	総	特にない	義歯の汚れが目立っていたが、ややきれいになってきた。義歯に破損部分があり、古くなってきたのを気にしていた。高齢なので、口の体操は動かしにくい様子。食事時、義歯装着せず。	入れ歯の清掃回数は以前と変わらない。口の体操は面倒でほとんどやっていないが、食事がおいしくなった。
14	N	82	女	9本残根	総	ない	特にない	義歯の調整、通院相談するも治療が怖い。残根にも義歯にも歯垢が目立つ。家ではあまりブラッシングしていない様子。	歯みがき回数や入れ歯の清掃回数は以前より多くなつた。口の体操は面倒でやっていない。移動が困難で治療に行きにくい。口の中が気持ち良くなったが、以前と大きく変わりが無い。
15	O	80	女	4本	部分	部分	当初は手訴がなかったが、入れ歯の調整に歯科に通院したい。	家に居る時は、食後に歯みがきや義歯の清掃を行っている。舌の汚れやや有り。体操も上手にこなす。リウマチのためハブラシ等の保持が難しく思えるが、工夫して歯間ブラシも使える。通院手段の検討？	歯みがき回数や入れ歯の清掃回数は以前より多くなり、舌をみがく習慣がついた。口の体操は家でもよくやっている。運動をするのが楽になった。
16	P	84	女	1本	部分	総	特にない	義歯は朝のみ清掃している。義歯の汚れやや有り。リウマチで手が使いにくい様子。うがいは上手にする。	歯みがき回数や入れ歯の清掃回数は以前と変わらない。口の中が気持ちよくなった。
17	Q	71	女	13本残根	部分	部分	特にない 通院困難	最初は義歯の汚れが目立っていたが、少しずつ清掃可能になってきた。歯はゴシゴシと力を入れてみている。	
18	R	85	女	0本	部分	使用なし	特にない	残存歯なしだが、上のみ義歯使用。普通食を食べる。義歯の黒い着色が気になる様子。義歯の新調などは消極的。治療のことについては、経済的な心配もある様子。	歯の治療は気がすまさない。このまま様子をみる。

介護予防における口腔アセスメント票 C 口腔アセスメント

事前評価

名前	口腔観察所見				口腔清掃自立度				口腔機能状態				食事内容								
	歯肉炎	口腔清掃状況	口臭	義歯の適合	義歯清掃状況	軟組織疾患	舌苔	その他の所見	歯磨き	義歯着脱	うがい	義歯清掃		開口度	咀嚼	発音	流涎(よだれ)	お茶や水でむせるか	食事時のむせ	食べこぼし	頬のふくらまし
A	C	C	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	B	B	A	A	
B	B	B	A																		
C	B	B	A	B		A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	B	A	A	B	
D	A	A	A	C		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
E	A	B	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
F	A	A	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	A	B
G	B	A	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	C	C	C	A	A	A
H	B	C	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B
I	A	B	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
J	A	A	A	B		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
K	C	C	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
L	B	A	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	D
M	A	B	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
N	C	C	B	C		A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	A
O	A	A	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	D
P	B	B	B	B		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
Q	A	B	B	B		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	D
R	A	B	B	B		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A

事後評価

名前	口腔観察所見				口腔清掃自立度				口腔機能状態				食事内容									
	歯肉炎	口腔清掃状況	口臭	義歯の適合	義歯清掃状況	軟組織疾患	舌苔	その他の所見	歯磨き	義歯着脱	うがい	義歯清掃		開口度	咀嚼	発音	流涎(よだれ)	お茶や水でむせるか	食事時のむせ	食べこぼし	頬のふくらまし	
A	B	B	A	B		A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	B	B	A	A	C	
B																						
C	A	B	A			A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	B	
D																						
E	A	B	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
F	A	A	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	B	A	A
G	A	A	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	C	C	A	A	A
H																						
I	A	B	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
J	A	A	A	B		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
K																						
L	B	B	A	C		A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	E	
M	A	A	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
N	B	B	A	C		A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	B	A	A	D
O	A	A	A			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
P	B	B	A	B		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
Q																						
R																						

口腔ケアのための一次アセスメント

事前評価

名前	①			②		③ 奥歯で噛む	④ うがい	⑤ 食事量等	⑥ 口の乾燥等	⑦ 水等をよく飲む	⑧ 食事中のむせ	⑨ ご飯をこぼす	⑩ 脳卒中	⑪ 発熱
	1歯の本数	2歯磨き	3清掃時間帯	1入れ歯使用	2入れ歯清掃									
A	1	1	3	1	1	1	1	2	2	2	1	1	2	2
B	1	1	1,3	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
C	2			2		2	1	2	2	1	1	2	2	2
D	1	1	4	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2
E	1	1	1	2		2	1	2	2	1	2	2	1	2
F	1	1	1,3	2		2	2	2	1	1	1	1	1	2
G	1	1	1,3	2		1	1	1	2	1	1	2	2	2
H	1	1	2,3	2		2	1	2	1	1	2	2	2	2
I	1	1	1,3	1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	2
J	1	1	2,3	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
K	1	1	1	2		1	2	2	2	2	2	2	2	2
L	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	1
M	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
N	1	2		1	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2
O	1	1	2,3	1	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2
P	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
Q	1	1	2,3	1	1	1	2	1	2	1	2	2	2	2
R	2			1	1	1	2	2	2	1	2	2	2	2

事後評価

名前	①			②		③ 奥歯で噛む	④ うがい	⑤ 食事量等	⑥ 口の乾燥等	⑦ 水等をよく飲む	⑧ 食事中のむせ	⑨ ご飯をこぼす	⑩ 脳卒中	⑪ 発熱
	1歯の本数	2歯磨き	3清掃時間帯	1入れ歯使用	2入れ歯清掃									
A	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
B														
C														
D														
E	1	1	2	2		1	1	2	2	1	2	2	1	2
F	1	1	1,2,3	2		2	2	2	2	1	2	2	1	2
G	1	1	2,3	2		1	1	1	1	1	1	2	2	2
H														
I	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	2	2
J	1	1	2,3	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
K														
L	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1
M	2			1	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2
N	1	2		1	1	2	2	2	2	1	1	2	2	2
O	1	1	1,2,3	1	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2
P	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	2
Q	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	2
R	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2

口腔ケアモデル事業全体の評価

- 当初の対象者 19名（さくら教室+ディサービス）
- 事業終了時の参加者 14名（中断者数5名）

中断の理由

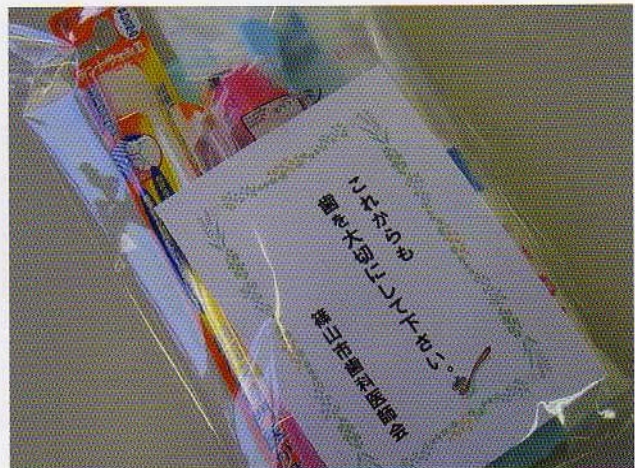
- ・ 認知症があり、家族も事業参加に非協力的であった。
- ・ 年齢が若く、プログラム内容がイメージと違ったので2回目から中断。
- ・ うつ状態が不安定で、出かけることが精神的な負担になった。
- ・ 1月に自宅にて脳梗塞を起こし、入院。
- ・ 認知症が進行し、継続参加が難しくなった。

◆ 個別支援プラン最終評価会議意見

- 残存歯が少ない状態や義歯を装着していないなど、歯科治療が必要と思われる者であるが、長年、過ごされてきた経緯と慣れにより、歯について主訴のない高齢者を対象に、3ヶ月間で、本人の目標設定や継続して行う口腔ケアに顕著な結果を求めるのは困難であった。
- 「痛みがある」「噛みにくい」と訴える者は、明確な自分の意志や目的が認められるが歯に不都合を感じていない者へ、口腔ケアの動機づけが難しい。
- 今回のモデル事業参加をきっかけに、歯科治療を受けた者は、口腔ケアに対してより意欲的になったと考えられる。
- 「閉じこもり」の者は、口腔内に顕著な変化がなくても、3ヶ月間で「口の中が気持ちよくなった。」「食事がおいしくなった」「歯みがきの回数が増えた」「むせが少なくなった」……など歯科保健行動に変化が認められ、併せて精神的にも、歯や義歯を清掃し、人前に出る自信が出てきたのか、活動的になり表情が明るくなった。
- 「閉じこもり」などの心の問題があっても、毎週、同じ担当の歯科衛生士と接する機会を重ねると、コミュニケーションが図れ、指導効果が増した。
- 誰かと一緒に「口の体操(嚥下体操)」を行うことはできても、家で継続して行うことは難しい状況であった。集団で行うなど、場を工夫する必要がある。
- 高齢者の施設等でこのような事業を行う場合は、まず、施設職員に口腔ケアの必要性を十分に理解を得た上で事業を行う必要がある。

今後の課題

- 今回、篠山市で実施の口腔ケアモデル事業は3ヶ月で終了したが、「口腔ケア」と「全身の健康」を併せ、今後どのようにフォローしていくのか。また、事業を展開していくのか。
- 高齢者の介護に携わる関係者（ケアマネージャー、ヘルパー、介護士、施設職員など）に口腔ケアに対する理解を得て、実際に推進していくには、どのような方策が必要か。
- 口腔内の清掃や義歯の清掃方法の指導だけでなく、要歯科治療者に、必要な歯科治療を受けていただく事が本当の問題解決に結びつくのだが、歯科治療には課題が多い。
 - ・ 経済的にゆとりがない(費用がかかる)
 - ・ 交通の手段（歯科医院までの交通手段がない)
 - ・ 歯科治療を受けるきっかけが作れない。
 - ・ 施設での歯科健診時に簡単な歯科治療が行えないか。（義歯の修理や調整など）
- 「閉じこもり」など心に問題を抱えた高齢者を対象にした今回の事業で、口腔ケアは「個別指導」中心に行い、マンツーマンで実施し、歯科保健行動に良い結果が得られたが、今後「集団指導」という形態で指導を行うとすれば、得られる結果はどのようなのか。



介護予防モデル事業「口腔ケア」への協力機関・団体・担当者

- | | |
|---------------------|--|
| ◆ 兵庫医科大学篠山病院 | 田 中 章太郎(医 師) |
| ◆ 広島大学大学院先端歯科補綴学研究室 | 吉 田 光 由(歯科医師) |
| ◆ 篠山市地域活動歯科衛生士グループ | 出 口 まりこ
市 田 久美子
田 中 佳 子
菅 井 まゆみ
松 原 都 子 |
| ◆ 柏原健康福祉事務所（保健所） | 小 前 みどり(歯科衛生士) |
| ◆ 篠山市(事務局) | |
| 保健福祉部長 | 平 野 芳 行 |
| 保健福祉部次長兼長寿福祉課長 | 石 川 丈 二 |
| 長寿福祉課 | 前 田 公 幸 |
| | 林 純 子 |
| | 小 西 雅 美(保健師) |
| | 山 田 康 弘 |
| 介護保険課 | 澤 順 子 |
| | 上 田 美佐江 |
| 健 康 課 | 梶 谷 千鶴子(保健師) |
| | 山 本 由美子(管理栄養士) |
| ◆ 篠山市歯科医師会（口腔ケア委員会） | 小 嶋 一 郎
荒 木 繁
増 田 耕 一
天 野 茂 雄
有 本 貴 昌
井 塚 篤 司
荻 野 和 夫
杉 本 真 隆
多 幡 秀 隆
中 道 賢 一 |

参考資料



- 1 事前・事後問診票およびアセスメント票(既定様式)
- 2 歯科健診・各種検査票、指導票(篠山市追加様式)



口腔ケアのための一次アセスメント

口腔ケア：自己評価票（事前・事後）

お名前()

※下記の質問の当てはまる答えに○を付けてください。

- ① 歯が一本以上ありますか？
 1. はい 2. いいえ
 1. 歯磨きしている 2. 歯磨きしていない・歯垢付
 1. 起床時 2. 食後 3. 就寝前 4. その他
- ② 入れ歯を使っていますか？
 1. はい 2. いいえ
 1. 入れ歯を清掃している 2. 入れ歯を清掃していない
 1. 起床時 2. 食後 3. 寝る前 4. その他
- ③ よくうがいをしますか？
 1. はい 2. いいえ
- ④ 最近食べる量が減ったり、食欲が減退していますか？
 1. はい 2. いいえ
- ⑤ 口の中や唇がヒリヒリしたり、乾燥しやすいですか？
 1. はい 2. いいえ
- ⑥ 水やお茶をよく飲みますか？
 1. はい 2. いいえ
- ⑦ 食事中にむせますか？
 1. はい 2. いいえ
- ⑧ ご飯をよくこぼしますか？
 1. はい 2. いいえ
- ⑨ 脳卒中の既往がありますか？
 1. はい 2. いいえ
- ⑩ 時々、発熱することがありますか？
 1. はい 2. いいえ

*が1つ以上ある場合リスク者とみなす。

アセスメント項目	チェックポイント	答え	問題有※
A	1 毎日歯磨きや入れ歯の手入れをしていますか？	はい いいえ	□
	2 お口の中はきれいになっていて悪いと悪いですか？	はい いいえ	□
	3 口臭は気になりますか？	はい いいえ	□
	4 痛い歯、しみる歯がありますか？	はい いいえ	□
	5 グラグラする歯がありますか？	はい いいえ	□
	6 歯のつめ物やかぶせられた物がとれたままになっていますか？	はい いいえ	□
	7 咬むと歯や齧ぐきに痛みがありますか？	はい いいえ	□
	8 その他()	はい いいえ	□
B	9 入れ歯をずっと入れたままにしていますか？	はい いいえ	□
	10 入れ歯ががたがたり、はずれやすいですか？	はい いいえ	□
	11 入れ歯あたって痛いところがありますか？	はい いいえ	□
	12 入れ歯が壊れていますか？	はい いいえ	□
	13 食事中に入れ歯を使っていますか？	はい いいえ	□
	14 入れ歯がないので食べにくいですか？	はい いいえ	□
	15 その他()	はい いいえ	□
	16 齧みがきをするとき血がでますか？	はい いいえ	□
	17 齧ぐきが続いていますか？	はい いいえ	□
	18 齧ぐきから膿が出ますか？	はい いいえ	□
	19 口内炎、口角炎がよくでますか？	はい いいえ	□
	20 口が潤いて食事がしにくいですか？	はい いいえ	□
	21 その他()	はい いいえ	□
C	22 食事に力がかかる時間がやや長くありませんか？	はい いいえ	□
	23 食べこぼしが多くなりましたか？	はい いいえ	□
	24 プクプクうがいやりにくくなりましたか？	はい いいえ	□
	25 ややむせやすくなりましたか？	はい いいえ	□
	26 やや飲み込みにくくなりましたか？	はい いいえ	□
	27 口が大きく開けにくくなりましたか？	はい いいえ	□
	28 発音がはっきりしなくなりましたか？	はい いいえ	□
	29 少し熱が出やすくなりましたか？	はい いいえ	□
	30 その他()	はい いいえ	□
	30 食欲がありますか？	i. 非常にある ii. ある iii. 普通 iv. あまりない v. ない	□
D	31 食事が楽しいですか？	i. 楽しい ii. やや楽しい iii. 普通 iv. やや楽しくない v. 楽しくない	□
	32 健康状態はいかがですか？	i. よい ii. まあよい iii. 普通 iv. あまりよくない v. よくない	□
E	お口の健康のため知りたいこと	(希望されるものすべてに○をつけてください) i. むし歯予防 ii. 齧ぐきを丈夫にする iii. 口の臭いの予防 iv. 歯の磨き方 v. 入れ歯の手入れ vii. 口臭の予防 viii. その他()	希望 有 無

※問題有の欄は、調査者、介護者が問題有りと感じた項目にチェックして下さい。

介護予防における口腔アセスメント票

口腔の器質的及び機能的評価

対象者について	氏名	生年月日	年	月	日
	男・女	平熱	°C	血圧	mmHg
初回アセスメント実施日	平成	年	月	日	
再評価アセスメント実施日	平成	年	月	日	
担当歯科医師					
担当歯科衛生士					
担当者					

現病歴	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 高血圧	<input type="checkbox"/> 高脂血症	<input type="checkbox"/> 脳血管障害
	<input type="checkbox"/> 心臓病	<input type="checkbox"/> その他		
服用薬剤	<input type="checkbox"/> 血圧降下剤	<input type="checkbox"/> 鎮痛剤	<input type="checkbox"/> その他	
主介護者(間柄)	医療機関(主治医名)			
	居宅介護支援事業者(ケアマネジャー名)			
要介護認定		支・1・2		
社会サービス利用状況				

調査(歯科) 実施日(年 月 日) 調査第 回目

対象者氏名: 性別: 男・女

生年月日: 年 月 日 年齢: 歳

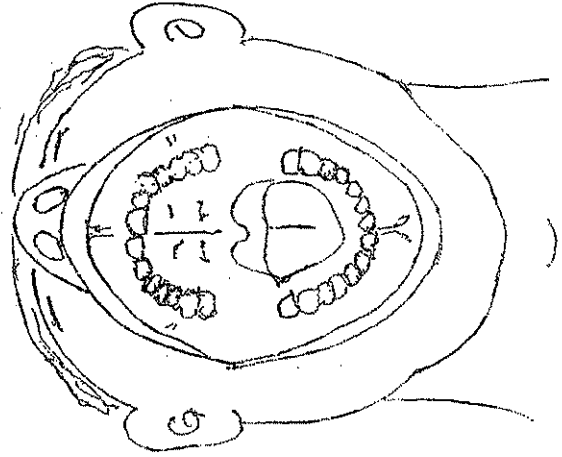
痛みの自覚症状 なし あり(内容)

1. 歯式(1) 過去1年の定期検診の有・無

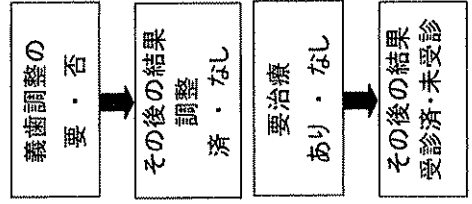
調査終了時																						
調査開始時																						
右	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	左					
調査開始時	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8						
調査終了時																						

記載記号 /:健全歯、C:う蝕未処置歯、C4:強度動揺歯、P4:強度動揺歯、O:欠損、⊖:欠損補綴

2. 歯式(欠損補綴) 養歯、ブリッジの形態を図示してください



現在歯数 _____ 歯
(残根除く) _____ 歯
アイヒナー分類
養歯なし _____
養歯あり _____



〈介護予防口腔ケアプラン〉(例)

氏名		男・女	年齢	歳	口腔ケアカンファ
基礎疾患		要介護度	支・1・2		レンス出席者
ケアプラン策定日	平成	年	月	日()	記録作成者

ケアの課題と目標	中・長期的	短期的
----------	-------	-----

課題	本人の目標	ケア項目	いつ	どこで	どのように	担当者

(事前・事後)

〈口腔アセスメント〉

歯肉炎	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 重度
口腔清掃状況	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 普 <input type="checkbox"/> 不良
口臭	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> わずかに有 <input type="checkbox"/> はっきり感じ取れる
義歯の適合	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 多少不適合 <input type="checkbox"/> 不適合
義歯清掃状況	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 普 <input type="checkbox"/> 不良
軟組織疾患	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ()
舌苔	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 少量 <input type="checkbox"/> 多量 <input type="checkbox"/> 他 ()
その他の所見	
口腔清掃自立度	歯磨き <input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> 介助があればできる <input type="checkbox"/> できない 義歯着脱 <input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> 介助があればできる <input type="checkbox"/> できない うがい <input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> 水を含む程度 <input type="checkbox"/> できない 義歯清掃 <input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> 介助があればできる <input type="checkbox"/> できない
口腔機能状態	開口度 <input type="checkbox"/> 大きく開けられる <input type="checkbox"/> 一横指程度開けられる <input type="checkbox"/> ほとんど開けられない 咀嚼 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 噛みにくい <input type="checkbox"/> 噛むことに大変不自由している 発音 <input type="checkbox"/> 明瞭である <input type="checkbox"/> あまり明瞭でない <input type="checkbox"/> ほとんど聞き取れない 流涎(よだれ) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> わずかにある <input type="checkbox"/> はっきり認められる お茶や水でむせるか <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 時々むせる <input type="checkbox"/> むせることが多い 食事時のむせ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 時々むせる <input type="checkbox"/> むせることが多い 食べこぼし <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 少しこぼす <input type="checkbox"/> 多量にこぼす 頬の膨らまし <input type="checkbox"/> 左右十分できる <input type="checkbox"/> 十分にはできない <input type="checkbox"/> 全然膨らまない
食事の内容	普段の食事で噛み切れる食事のうち、最も硬いもののグループはどれですか。 (入れ歯の人は入れ歯を使った場合についてお答えください) グループ1. さきいか・たくあん グループ2. 豚肉ももゆで・生にんじん・セロリ グループ3. 油揚げ・酢だこ・白菜の漬物・乾しぶどう グループ4. ご飯・りんご・つみれ・ゆでたアスパラガス グループ5. パナナ・煮豆・コーンヒューブ・ウエハース グループ5の食品も噛めない

歯科医師会追加調査用紙（用紙 A-1）

1、 1次スクリーニングの最後に加える項目として

12. として最近、体重が減少しましたか？ はい、 いいえ

2、 Sp O₂

口腔ケアの実施前と実施後の変化、モデル事業のはじめと終わりの変化

初回 口腔ケア前

口腔ケア後

最終回 口腔ケア前

口腔ケア後

3、 QOL (SF 36)

他の介護予防プログラムの結果をもとに 変化を記載

モデル事業開始時 _____ モデル事業終了時 _____

嚥下テスト

(1) 喉頭挙上の触診

反復唾液嚥下テスト(Repetitive saliva swallowing test: RSST)。被検者に「できるだけ何回も“ゴクン”とつばをのみ込むことを繰り返し返してください」と指示し、嚥下回数を観察値とする。唾液の分泌不全がある場合は1ccの人工唾液をあらかじめ口腔内に噴霧してから行うようにする。30秒間で3回以上を正常値とする。

回数	回	30	秒
1回目	秒		
2回目	秒		
3回目	秒		
4回目	秒		
5回目	秒		

歯科医師会追加調査用紙(用紙 A-2)

(2) 水飲みテスト

水を飲ませることにより時間、むせの有無、飲み方について記載する方法。検査に用いた水は試験しても安全性が高く、在宅などでも行える方法。しかし、著しい誤嚥が予想される患者には負担が大きい。(表)

(表) 水のみテストの方法

常温の水 30ml を注いだ薬杯を椅座位の状態にある患者の健手に手渡し、「この水をいつものように飲んでください」と言う、水を飲み終わるまでの時間、プロフィール、エピソードを観察する。

飲み終わるまでの時間 _____ 秒

「プロフィール」 以下より選択してください

1. 1回でむせることなく飲むことができる
2. 2回以上に分けるが、むせることなく飲むことができる
3. 1回で飲むことができるが、むせることがある
4. 2回以上に分けて飲むにもかかわらず、むせることがある
5. むせることがしばしばで、全量飲むことが困難である

プロフィール1で5秒以内: 正常範囲

プロフィール1で5秒以上、プロフィール2: 疑い

プロフィール3~5: 以上

「エピソード」

すすめるような飲み方、呑むような飲み方、口唇からの水の流出、むせながらも無理に動作を続けようとする傾向、注意深い飲み方などを簡潔に記載してください。

プロフィール _____、エピソード _____

歯科医師会追加調査用紙(用紙B)

進行内容 _____ スタッフ構成 _____
 実施日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 実施時間 _____ 分

1. 集団アプローチ I (機能的口腔ケア)
- (1) 深呼吸 チェック
 - (2) 首の体操
 - (3) 舌の体操
 - (4) 頬のふくらまし
 - (5) 発音訓練
 - (6) 水分摂取(補給)
 - (7) お菓子等の摂取
 - (8) 深呼吸
 - (9) その他
2. 集団アプローチ II (器質的口腔ケア)
- (1) 水でブクブクうがい
 - (2) 自分の口を観察
 - (3) 自分流の歯ブラシ
 - (4) 基本的なブラッシング法をお伝えする
 - (5) 歯磨きや補綴物の清掃管理
 - (6) その他
3. 個別アプローチ
- (1) 口腔ケアアセスメント・口腔観察
 - (2) アセスメント票への記入
 - (3) 個別に指導
 - (4) その他

歯肉の状況(CPITN) (健診担当者: _____)

6か7	1	6か7
<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>
6か7	1	6か7
<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>

0: 健全
 1: 歯肉出血
 2: 歯石あり
 3: 4~5 mmポケット
 4: 6 mm以上
 5: 診査対象外

最大値

口腔観察所見欄

①歯肉炎	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 軽度	<input type="checkbox"/> 重度	
②口腔清掃状況	<input type="checkbox"/> 良	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 不良	
③歯垢付着状態	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> やや付着()	<input type="checkbox"/> かなり付着()	
④歯石沈着状態	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> やや()	<input type="checkbox"/> かなり()	
⑤口臭	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> わずかに	<input type="checkbox"/> はっきり感じられる	
⑥齧歯適合	<input type="checkbox"/> 良	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> やや不適	<input type="checkbox"/> 不適合
⑦齧歯清掃状況	<input type="checkbox"/> 良	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 不良	
⑧軟組織状態	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 有り()		
⑨舌苔	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 少量	<input type="checkbox"/> 多量	<input type="checkbox"/> 他()
⑩その他の所見				

口腔機能状態

①開口度	<input type="checkbox"/> 大きく可	<input type="checkbox"/> 一横指程度	<input type="checkbox"/> ほとんど開けられない
②咀嚼	<input type="checkbox"/> 問題なし	<input type="checkbox"/> 噛みにくい	<input type="checkbox"/> 噛むことが不自由
③発音	<input type="checkbox"/> 明瞭	<input type="checkbox"/> あまり明瞭でない	<input type="checkbox"/> ほとんど聞き取れない
④よだれ	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> わずかにある	<input type="checkbox"/> はっきり認められる
⑤頬の膨らまし	<input type="checkbox"/> 左右十分できる	<input type="checkbox"/> 十分にはできない	<input type="checkbox"/> 全然膨らまない

健診メモ欄

口腔ケアモデル事業おうちプログラム問診票(篠山市追加分)

氏名	(歳)	住所	篠山市
----	------	----	-----

問診票 氏名	平成 年 月 日	問診担当歯科衛生士名()	備考
1	自分の歯について、どのような感じですか。	1 とてもいい歯だと思う 2 ふつう(良くも悪くもない) 3 若い頃から歯が悪かった 4 最近、歯が悪くなってきた 5 その他()	
2	現在、歯や口の中のことで、気になっていることがありますか(あてはまるものすべて)	1 特にない 2 歯や歯ぐき痛み(いつも・時々) 3 歯ぐきがしみる 4 歯ぐきが腫れる(いつも・時々) 5 歯ぐきから血が出る(いつも・時々) 6 噛みにくい・食べにくい 7 口が渇く。口臭が気になる 8 歯がグラグラ動く 9 入れ歯が合わない、ゆるい 10 飲み込みにくい 11 口の中が荒れる。口内炎ができる 12 口が開きにくい。顎が痛む。 13 その他()	
3	普段の歯みがきについて ① いつ、歯をみがきますか(入れ歯を洗いますか)	1 朝食前 2 朝食後 3 昼食後 4 夕食後(寝る前) 5 時々みがく・洗う 6 歯みがきはしない・洗わない 7 その他()	
	② ハブラシ以外に歯をみがく時、入れ歯を洗う時に使う用具はありますか(あてはまるものすべて)	1 特にない 2 糸ようじ 3 歯間ブラシ 4 電動ハブラシ 5 洗口剤(うがい) 6 入れ歯用ハブラシ 6 入れ歯用洗剤(ポリドント等) 7 その他()	

③ 歯のみがき方や入れ歯の洗いを習ったことがありますか	1 ない 2 ある(どのくらい前) 3 わからない	
4 現在、食べにくい・噛みにくい物がありますか	1 特にない 2 ある(たとえばどんな物ですか)	
5 歯の治療について ① 一番最近に治療を受けたのはいつですか	1 現在、通院中(治療中) 2 か月前、半年前、年前 3 わからない。忘れた。 4 その他()	
② 歯の治療を受ける際に困ることがありますか(あてはまるものすべて)	1 特にない 2 通院困難(交通の便が悪い) 3 歯の治療が怖い・嫌い 4 どこに行ってもいいのかわからない 5 経済的に負担 6 その他()	
6 入れ歯について(有る者のみ) ① 入れ歯を使っていますか	1 いいえ(自分の歯のみ) 2 はい(上総・部分) (下総・部分) 3 持っているが使用していない 4 その他()	
② 調子はどうですか	1 とても良い 2 まあまあ 2 ゆるい 3 噛みにくい(何が) 4 その他()	
③ 寝る前は、入れ歯をはずしていただきますか	1 はずしている 2 はずしていません(めんどろ・はずせない) (知らなかった・その他)	

★モデル事業の協力度について

1 口腔内写真撮影	1 撮影困難 3 とても協力的	2 とりあえず了解 4 その他
2 歯垢染色(実習)	1 実施困難 3 とても協力的	2 とりあえず了解 4 その他
3 ストマスタット	1 実施困難 3 とても協力的	2 とりあえず了解 4 その他

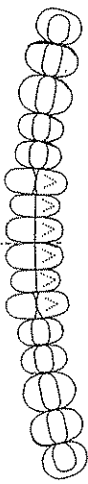
各種オプシヨン検査結果(鎌山市追加様式)

検査項目	結果	備考
①ストマスタット	受けた・受けていない - ± +	
②RDRテスト	受けた・受けていない L M H	
③サリバスターテスト	受けた・受けていない - ± + + +	
④咀嚼ガム	受けた・受けていない 変化した色名	

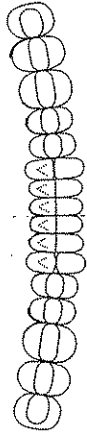
口腔内写真貼付 (撮影日: _____ 撮影者: _____)

歯垢染色記録 (実施日: 平成 年 月 日 担当者: _____)

永久歯



(上)

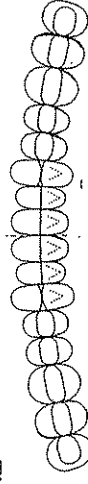


(下)

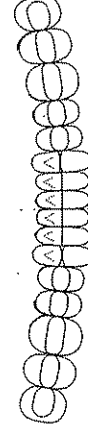
(右) (左)

歯垢染色記録 (実施日: 平成 年 月 日 担当者: _____)

永久歯



(上)

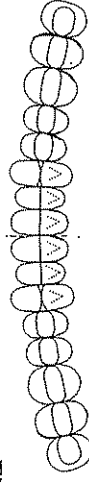


(下)


(右) (左)

歯垢染色記録 (実施日: 平成 年 月 日 担当者: _____)

永久歯



(上)



(下)

(右) (左)

篠山市口腔ケアモデル事業評価聞き取り票

(・さくら教室・デイサービス)

氏名

1	あなたは、昨年12月に事業が始まってから、歯みがきや入れ歯を洗うなど、お口の手入れの回数は変わりましたか。	① 以前より多くなった ② かわらない ③ 以前より減った ④ その他()
2	歯や歯ぐき、入れ歯のことで悩んでいることはその後、どうになりましたか	① 解決した。良くなった ② そのまま ③ よけいに悩みが増えた ④ 以前から悩みはない ⑤ その他()
3	口の周りの体操は、家でしていますか	① よくしている ② ときどきしている ③ ほとんどしていない ④ その他() (・難しい・面倒・忘れる)
4	歯の治療が必要な方は、その後、どうなりましたか	① 治療を受けた。治療済み。 ② 治療に行きたいが、体の調子が悪い ③ 移動手段がなく、治療に行きにくい ④ 治療は必要ない。受けたくない。 ⑤ 費用のことが気にかかる ⑥ その他()
5	歯みがきの練習や、口の周りの体操をこの3か月間、行ってみて、感じたこと、思ったことはありますか。	① 鏡を見て、ていねいにみがくようになった ② 口の中が気持ち良くなった ③ 口臭がなくなった ④ 食事がおいしくなった ⑤ 食べやすくなった。 ⑥ 前とかわらない。特にならない ⑦ 負担になっていた。しんどかった。 ⑧ その他()

聞き取り担当者名

おうちプログラム・歯の健診結果

平成 年 月 日

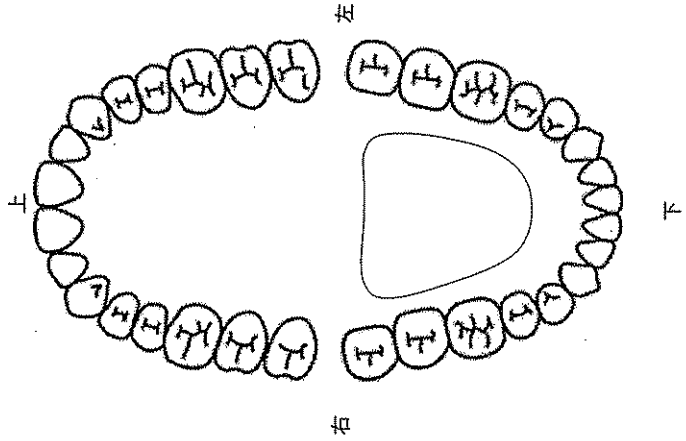


あなたの歯の本数

本

むし歯	本
治療済みの歯	本
抜いた歯	本

- 入れ歯の使用(なし・あり)
- ・上 (総入れ歯・部分)
 - ・下 (総入れ歯・部分)
 - ・持っていない
 - ・使っていない



歯や歯ぐき・入れ歯のことについて

歯みがき・入れ歯の清掃のことについて

【記号】
良い歯／・むし歯C・治療済みの歯○・抜いた歯△

篠山市歯科医師会

篠山市歯科医師会は会員 19 名、兵庫県の中でも最も小さな会のひとつです。決して十分なマンパワーを有しているとは言えませんが、私たちは少しでも「口から始まる健康づくり」を通じて、地域の人たちの幸せにつながる事ができればと、みんなで知恵をしぼっています。

地域歯科保健事業は、健康福祉事務所や篠山市への協力事業以外に、2年前より主催事業にも取り組みはじめ、昨年度は下記の事業を実施いたしました。

しかし、まだまだ手探りで歩んでいるところです。今後も研鑽を積み、一步一步前へ進んでゆきたいと思えます。

皆様方のご支援を、今後ともよろしくお願いいたします。

◆平成 16 年度地域歯科保健事業

[主催事業]

- ・丹波圏域高齢者保健福祉施設職員等口腔ケア指導者研修会
- ・高齢者福祉施設での口腔ケア研修会・事業所、小規模作業所歯科健診
- ・「いい歯の日」キャッチコピーコンクール
- ・「子育て歯育て体験談」冊子発行

平成 17 年 4 月発行

平成 16 年度篠山市介護予防モデル事業

口腔ケアモデル事業報告書

発行 兵庫県篠山市歯科医師会

兵庫県篠山市立町 139-1(小嶋歯科医院内)

電話 079-552-3195

表紙デザイン 篠山市歯科医師会 荒木 繁

